

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月27日更新

事務事業名		国保協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	澤田 勝矢
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	内田 美代子
	施策の柱	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	国保年金班	(内線)	2136
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	国民健康保険法国民健康保険団体連合会規則	成果優先度評価結果	: ⑫
	国保	1	1	1	10389			コスト削減優先度評価結果	: -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県都市国保研究協議会及び菊池郡市国保協議会に参画し、研究協議会や事務研究会に参加する。
【業務の流れ】	国民健康保険に関する問題を研究協議する。
【主な予算費目】	01総務費 01総務管理費 01一般管理費
【意見や要望】	年に数回行われる協議会で担当者が集まる事によって、あまりない事例などについて意見を出しあったり、手続きを揃える事によって仕事がしやすくなっているため、これからも協議会を続けていって欲しいという意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	年間計画に基づいた研修、研究会に参加。規定どおりの負担金の支払い。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 27年度と同じ。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア:開催回数 イ:参加者数(延べ)	予算の主な増減の理由 旅費の支出がなく負担金だけの予算となったため
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国保担当者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア:国保担当者数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	国保担当者の資質向上を図る。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % ア:問題解決できたと思う人の割合 イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 制度改正の多い国保の運営を円滑に進めるうえで、職員の資質向上に役立っている。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
①活動指標	ア 回		9	9	11	9	11	9	9	9
	イ 人		12	12	22	12	22	22	22	22
②対象指標	ア 人		4	4	4	4	4	4	4	4
	イ									
③成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円	50	50	66	65	50	50	50
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	50	50	66	65	50	50	50	50
		(A)のうち指定経費	千円	50	50	50	50	50	50	50
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	5	6	5	5	5
延べ業務時間		時間	70	70	100	70	70	70	70	
(B)人件費計	千円	278	278	398	259	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	328	328	464	324	50	50	50	50	

事務事業名	国保協議会参画事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 担当者研修会に積極的に参加し、事務執行上の課題の解決に役立っている。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 他市町であった事例を勉強することにより、担当者の知識も増える。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 熊本県内での区域割が決まっている。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 会議時の資料代だけで、事業費はかかってない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 担当者自身の資質向上目的の研修であるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 他市町と話し合ってるので、事務内容は同じで公平。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 熊本県内での区域割が決まっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

研修会で学んだ事を生かすことができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					